

外科専門研修プログラム

サブスペシャルティ重点コース / 小児外科専門医コース

a-1: 小児外科臨床重点コース、a-2: 小児外科大学院重点コース

(1) コースの全体像

2年間の初期臨床研修終了後、大阪大学の外科専門研修プログラムとして大阪大学医学部附属病院あるいは関連病院で、外科専門研修を開始する。はじめの2年間で、基幹病院である阪大病院での研修を含め、外科専門医取得に必要な症例を経験する。5年目(外科専攻3年目)に小児外科研修医として、阪大病院・小児専門病院にて小児外科に関する基礎的な知識・技術の習得を1年間行う。

a-1 コースでは、6年目から大学関連病院または小児専門病院にて実践的臨床症例の臨床経験を積む。

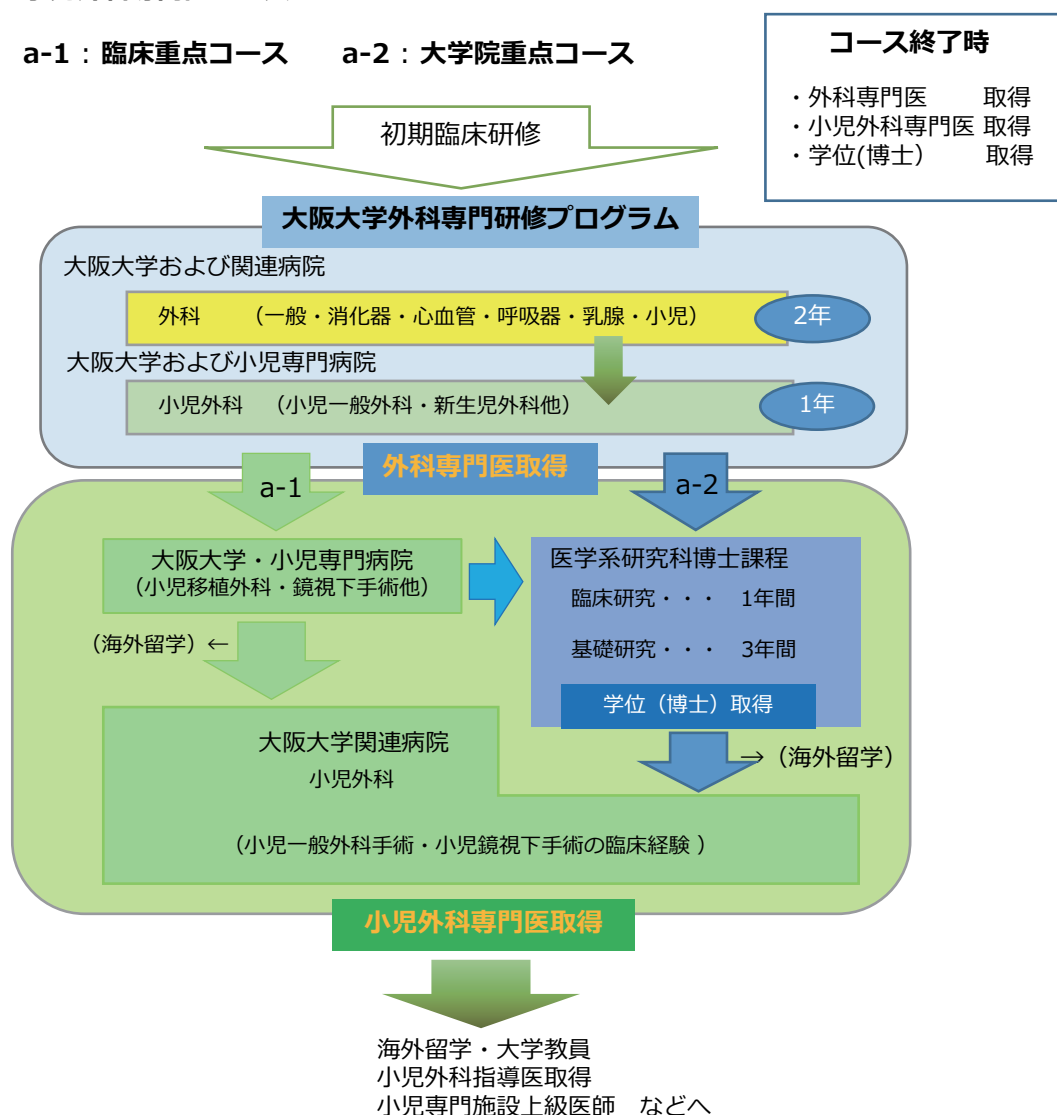
a-2 コースでは、6年目に大学院博士課程に入学して1年間は小児外科に関する臨床および臨床研究を行う。つづく3年間は小児外科に関連した基礎研究を行い、学位を取得する。その後、10年目から大学関連病院及び小児専門病院にて実践的症例の臨床経験を積む。

両コースとも、5年目(外科専攻の3年目)終了時には外科専門医の受験資格を取得する。小児外科専門医については、小児外科専攻2年目以降に筆記試験を受験し3～5年目の取得を目指す。a-1 コースから a-2 コースへの変更等も希望に応じて対応可能である。

小児外科専門医コース

a-1 : 臨床重点コース

a-2 : 大学院重点コース



(2) コースの概要

コース名： 小児外科専門医コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	受入人数	期間
大阪大学関連病院 大阪急性期・総合医療センター 市立豊中病院 市立吹田市民病院 など	外科	外科 (一般消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・救急外科など)	1～5名	一般外科の基礎的研修ならびに消化器外科を初め、外科専門医取得に必要な各分野の手術症例の経験	1～3名	2年
小児専門病院 大阪母子医療センター 大阪市立総合医療センター	小児外科	小児外科 (小児一般外科・新生児外科・小児鏡視下手術など)	3～5名	小児外科の基礎的知識・技術の習得、外科専門医に必要な手術症例数の経験、小児外科専門医取得に必要な研修指数の獲得	1～3名	1-2年
大阪大学医学部附属病院	小児外科	小児外科 (新生児外科・小児移植外科・小児腫瘍外科・小児鏡視下手術・外科栄養など)	6名	小児外科の高度専門的知識・技術の習得、小児外科専門医筆記試験受験、小児外科専門医取得に必要な研修指数・専従期間の獲得、研究論文業績	1～3名	1年 a-1: 2年 a-2: 4年
大阪大学関連病院 奈良県総合医療センター、福山医療センター、兵庫医大病院、浜松医大病院、愛染橋病院、市立東大阪医療センター、吹田市民病院、八尾徳洲会病院など 小児専門病院 大阪母子医療センター、大阪市立総合医療センター	小児外科	小児外科 (小児一般外科・新生児外科・小児鏡視下手術など)	1～5名	小児外科の実践的症例の手術術者経験、小児外科専門医取得に必要な研修指数の獲得、専従期間の獲得ならびに手術術者症例の経験、研究論文業績	1～3名	a-1: 4年 a-2: 2年

(3) コースの実績

大阪大学関連病院外科においては研修医一人あたり年間 120～160 例程度の外科症例経験が見込まれ、外科専門医取得に必要な各専門分野別症例数も充足している。小児専門病院小児外科においては、研修医一人あたり年間 150～200 例程度の小児外科症例経験が見込まれる。小児専門病院、大阪大学小児外科、大学関連病院小児外科を通じて小児外科専門医取得が可能である。

(4) コースの指導状況

関連病院外科には 2 名以上の外科専門医、1 名以上の外科指導医が配置され、手術指導をうける体制が確保されている。小児専門病院小児外科には 1 名以上の小児外科指導医が配置されている。大阪大学小児外科には 5 名以上の外科小児外科指導医が配置されている。小児移植外科・新生児外科・小児鏡視下手術など高度専門的技術を要する手術においては大阪大学小児外科より各施設に指導医が巡回して教育・技術指導を行う。

(5) 専門医の取得等

学会等名	1) 日本外科学会 2) 日本小児外科学会
資格名	1) 外科専門医 2) 小児外科専門医
資格要件	1) 研修開始登録後 5 年以上の修練。350 例（うち術者として 120 例）の手術件数の修練実績。各専門分野の必須症例数以上の修練実績。研究発表または論文発表の業績。筆記及び面接試験の合格。 2) 通算 7 年以上の外科医としての経験。認定施設での通算 3 年以上の専従。外科専門医の取得。学術集会への参加。小児外科に関する筆頭研究論文または筆頭症例報告が 1 編以上。小児外科学会が規定した学術実績を有すること。小児外科学会が規定した臨床実績を有すること（本カリキュラムで十分に達成可能）。小児外科専門医筆記試験に合格。
【学会の連携等の概要】 小児外科専門医取得の際、大学院在学中に臨床研究を行う目的で臨床に専従する期間は日本小児外科学会の規定した専従研修期間に含めてよいことが認められている。	



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 小児外科

担当者 野村 元成

✉ nomura@pedsurg.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.pedsurg.med.osaka-u.ac.jp/trainee/index.html>

